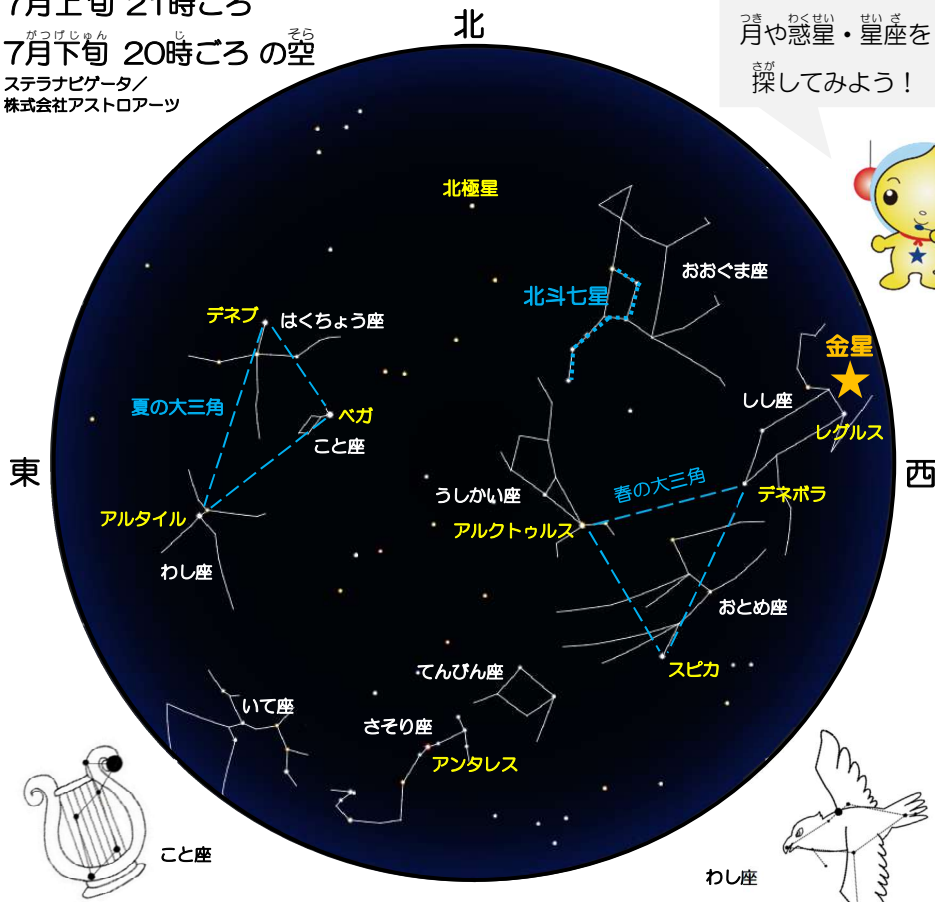
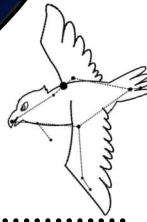


2026年 月刊 星空の散歩道 7月号

7月上旬 21時ごろ
7月下旬 20時ごろの空
ステラナビゲータ/
株式会社アストロアーツ



7月 月や惑星・星座を
探してみよう!



7月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に春の星座が、南の空と東の空に夏の星座が見えています。

- < 西 > しし座 (レグルス、デネボラ)、おとめ座 (スピカ)
- < 天頂 > うしかい座 (アルクトゥルス)
- < 南 > さそり座 (アンタレス)
- < 東 > こと座 (べが)、わし座 (アルタイル)、はくちょう座 (デネブ)
- < 北 > 北極星、おおぐま座

☆天文トピック☆

7月 7日 七夕

日本ではこと座の「べが」を織姫星、わし座の「アルタイル」を彦星として親しんできました。夏の大きな角も見つけてみましょう。

7月 17日 月と金星が近づいて見える

日没後、西の空で細い月と明るい金星が近づいて見えます。西が開けたところで、観察してみましょう。

☆月の形の変化☆

7月 8日	下弦	
7月 14日	新月	
7月 21日	上弦	
7月 29日	満月	

☆7月の惑星☆

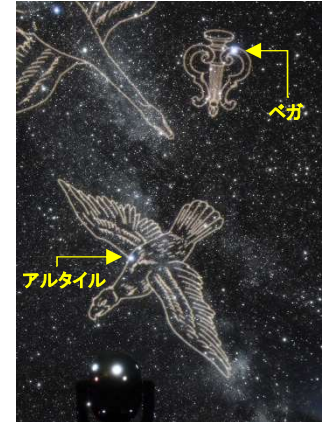
金星…日没後、西の空
土星…明け方、南東の空
火星…明け方、東の空

<天文コラム>七夕の二人が出会うのは1年に1度?

織姫と彦星が1年に1度だけ出会える、それが七夕の日。

織姫星の正式名称はべが、彦星はアルタイルです。べがとアルタイルは伊丹市では季節を問わず1年を通して、日没から日の出までのどこかの時間に見ることができます。地上から見ていると、夜空で毎日、一緒に過ごしていると言えるかもしれません。

ところで、地球からべがは25光年、アルタイルは17光年離れています。この世で最も速く進む光は、1秒間に約30万km、地球を7周半もするほどの速さがあります。この光が1



年まで到達する距離が1光年です。べがから出た光は25年もかけて、私たちの目に届いています。つまり、地上にいる私たちは常に25年前のべがの姿を目にしていることとなります。

ちなみに、べがとアルタイルは15光年離れています。光の速度で互いに会いに行くと、中間地点まで7年半もかかります。宇宙で現実に出会うことは、とても難しいのですね。

伊丹市立こども文化科学館 発行日 2026年6月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

